

FUKUVI 

フクビ化学工業株式会社
Fukuvi Chemical Industry Company, Limited

OAフロアLP3000

Raised Floor LP3000



登録番号
SuMPO-EPD-2510-4-2

検証合格日
2025/10/22

公開日
2025/11/4

検証有効期間
2030/10/21

EPDタイプ
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格
なし

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

Environmental Product Declaration for **Raised Floor LP3000**

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-12-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	二重床
PCR登録番号	PA-242159-AG-07
PCR認定日	2023/05/10
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/05/09
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	阿藤 崇浩（特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	フクビ化学工業株式会社 建材事業本部 建材開発部
住所	東京都品川区大井1丁目23-3
問い合わせ先	03-6417-1235
LCA算定実施者（所属）	フクビ化学工業株式会社
事業者概要	売上高：（連結）39,973百万円 （個別）36,246百万円（2025年3月期） 本社所在地：〒918-8585 福井県福井市三十八社町33-66 事業内容：建築資材の製造・販売、住宅用内装材・外装装飾部材、集合住宅用床システムなど、樹脂製産業資材の製造・販売、精密化工製品製造・販売、反射防止などの機能性精密樹脂製品など

Environmental Product Declaration for Raised Floor LP3000

●製品情報

製品名称		OAフロアLP3000	
製品の型式		(パネル) 00404097 (交点支柱) 00196970、00196971、00196940、00196941、00196942、00196943、00196944、00196945、00196946、00196947、00196948 (補助支柱) 00196972、00196973、00196930、00196931、00196932、00196933、00196934、00196935、00196936、00196937、00196938	
製品仕様	製品質量	23.36kg	換算係数 23.36
	製品機能	構造躯体上に高さ調整が可能な支持脚でパネルを支持する調整式の床で構成し、水道用配管、電力用配線、通信用配線、機器等の収納を容易にできる機能	
	製品の用途	主に事務所等の床に使用し、配線等を収納する開閉可能な床システム	
	技術性能	フリーアクセスフロア工業会「フリーアクセスフロアの性能評価2022.03」に規定される耐荷重性(3000N)、耐衝撃性等を備える	
耐用年数	年数	50年	
	使用条件	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の事務所用途	
	年数を設定した根拠	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典：国税庁、「主な減価償却資産の耐用年数表」＜2022年	
製造サイト（製造拠点）		福井県、東京都、石川県	
製品概要		【製品（パネル）寸法】 497mm×497mm×30mm 【製品重量】 パネル：4.5kg/枚 交点支柱：約80g/本（最小値）～約210g/本（最大値） 補助支柱：約70g/本（最小値）～約200g/本（最大値） 【耐荷重】 3000N ※支持脚は、高さ（支柱部の長さ）のみが異なり、支持脚径、原材料および製造工程は同一であることを条件とする。	
製品ウェブサイト		https://www.fukuvi.co.jp/product/17/01/276	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
木材	94.9	22.2 kg
樹脂	4.8	1.1 kg
金属	0.3	0.1 kg
		kg
		kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
段ボール	100.0	0.06 kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

Environmental Product Declaration for **Raised Floor LP3000**

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☒ 特定サイト	☐ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☒ 加重平均値	☐ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いより、本製品は同一製品のパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用されるため、対象とする支持脚の高さ毎の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いより、本製品は同一製品のパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用されるため、対象とする支持脚の高さ毎の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。 対象とする支持脚は、高さ（支柱部の長さ）のみが異なり、支持脚径、原材料および製造工程は同一である。 【各支持脚のパネル30mm天端までの高さ調整範囲】 47mm（最小値）～302mm（最大値）		
複数製品EPDの説明		同一製品のパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用できる。		

> LCA関連情報

機能単位	1㎡		
宣言単位当たりの質量 （質量への換算係数）	23.36kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	☐ Cradle-to Gate	☒ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD 3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEA 3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC 2013 GWP 100a、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	原料のパーティクルボードには、SuMPO EPDプログラムの宣言（JR-CF-24005E「パーティクルボード」）を用いた。		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	福井県、東京都、石川県		
一次データ収集期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
生物由来炭素の取り扱い	☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他
	種類		
	購入日		
	発行元		

Environmental Product Declaration for **Raised Floor LP3000**

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	■	■	■	－

■ : 算定対象 — : 算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。支持脚製造プロセスにおいては同工場で製造される他の射出製品（複数）が共製品として排出される。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるためエネルギー量データを同工場で生産される製品の生産数による物理量で配分を行った。

> カットオフ

環境影響が微少でデータ収集が困難なプロセスのうち、ライフサイクル段階ごとのエネルギー投入量に対し、カットオフしたエネルギー合計値が5%未満であるエネルギーのカットオフを行った。
 カットオフ対象プロセス：支持脚の部材接合にかかるエネルギー

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。時間的システム境界は100年である。

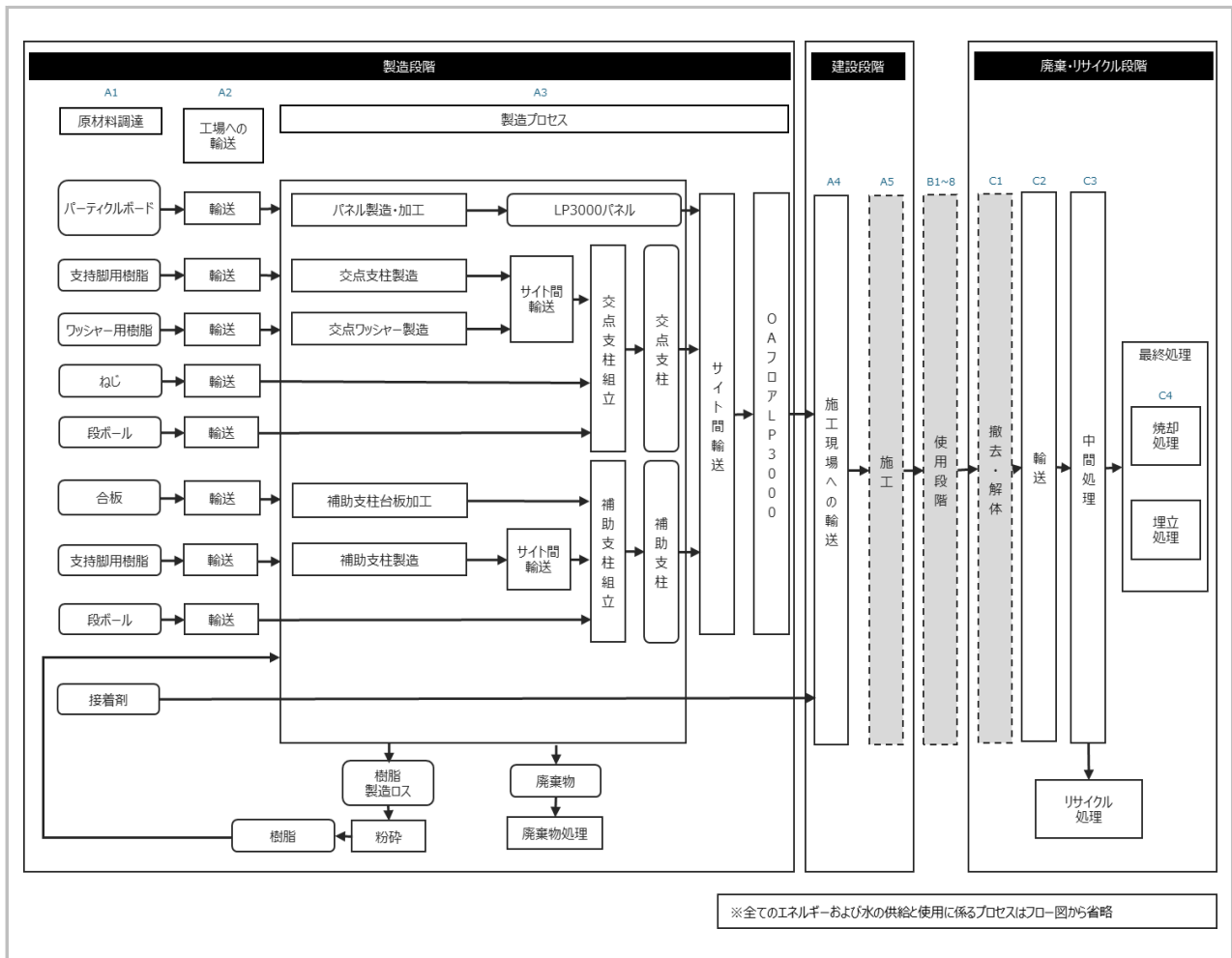
> シナリオ

A2、A3、A4、C2の輸送手段および輸送距離（一部）はPCRのシナリオを使用した。また、廃棄段階はPCR 6-7または10-4に基づき、使用後各製品の焼却、埋立、リサイクルの割合を引用して計算した。

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for **Raised Floor LP3000**

●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		A1_原材料調達（資材製造段階） A2_工場への輸送（資材製造段階） A3_製造（資材製造段階）	A4_現場への輸送（輸送・施工段階）	C2_輸送（最終段階）	C3_中間処理（最終段階）	C4_最終処理（最終段階）
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.67E+01	1.89E+00	6.90E-01	6.85E-01	5.79E+00
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	5.94E-06	2.53E-11	9.23E-12	3.02E-07	1.24E-07
酸性化	kg-SO ₂ eq	2.56E-02	6.25E-03	2.90E-03	6.07E-04	7.76E-03
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	4.87E-04	1.33E-05	6.15E-06	1.50E-05	1.01E-05
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.15E-02	1.94E-11	7.07E-12	2.99E-04	4.47E-06

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		A1_原材料調達（資材製造段階） A2_工場への輸送（資材製造段階） A3_製造（資材製造段階）	A4_現場への輸送（輸送・施工段階）	C2_輸送（最終段階）	C3_中間処理（最終段階）	C4_最終処理（最終段階）
非再生可能資源	kg	5.71E-01	1.89E-06	6.90E-07	1.60E-02	2.79E-01
非再生可能エネルギー	MJ	3.17E+02	2.58E+01	9.41E+00	1.54E+01	1.03E+01
再生可能資源	kg	3.85E+00	4.82E-07	1.75E-07	3.91E-02	2.34E-03
再生可能エネルギー	MJ	3.79E+01	6.56E-04	2.39E-04	2.84E+00	3.18E+00
淡水の消費	m ³	5.58E+00	3.86E-05	1.41E-05	8.08E-03	6.25E-04

> 廃棄物関連情報

		A1_原材料調達（資材製造段階） A2_工場への輸送（資材製造段階） A3_製造（資材製造段階）	A4_現場への輸送（輸送・施工段階）	C2_輸送（最終段階）	C3_中間処理（最終段階）	C4_最終処理（最終段階）
有害廃棄物	kg	—	—	—	—	—
無害廃棄物	kg	3.37E-01	2.08E-09	1.77E-02	1.64E-08	5.97E-09

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		A1_原材料調達（資材製造段階） A2_工場への輸送（資材製造段階） A3_製造（資材製造段階）	A4_現場への輸送（輸送・施工段階）	C2_輸送（最終段階）	C3_中間処理（最終段階）	C4_最終処理（最終段階）
再利用可能な部品	kg	—	—	—	—	—
リサイクル用材料	kg	0.087	—	—	—	—
エネルギー回収用材料	kg	—	—	—	—	—
廃棄物からの排出エネルギー （エネルギー回収効率 ≧ 60%）	MJ	—	—	—	—	—
廃棄物の焼却 （エネルギー回収効率 < 60%）	MJ	—	—	—	—	—
埋立処分廃棄物/回収埋立地発生ガス	MJ	—	—	—	—	—

Environmental Product Declaration for Raised Floor LP3000

> LCA算定結果に関する説明

—

●追加の環境関連情報

> LCAに関連しない追加の環境情報

本製品には建築基準法においてシックハウス対策として指定されている揮発性有機化合物のクロルピリホス、ホルムアルデヒドのうち、クロルピリホスの使用はありません。

ホルムアルデヒドはパネルのパーティクルボード、補助支柱用台板と端部キャップの合板から発散がありますが、本製品ではF☆☆☆☆の低発散性となっております。

この他、厚生労働省ではシックハウス対策として「室内濃度の指針値」でクロルピリホス、ホルムアルデヒドの他、トルエン、キシレンなど全14種類の揮発性有機化合物を指定していますが、ホルムアルデヒドを除き、本製品での使用はありません。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	101-68-8	労働安全衛生法、化学物質管理促進法
ホルムアルデヒド	50-00-0	JIS F☆☆☆☆、JAS F☆☆☆☆

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations - Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works - Core rules for environmental product declarations of construction products and services